

# 「地図」の制作を通して、京都の まだ見ぬ魅力を「言葉」で紡ぐプロジェクト

龍谷大学「文学部プロジェクト実践発展演習Ⅱ」プロジェクトチーム

▶担当 龍谷大学文学部教務課 秦 昌宏 ▶電話 075-343-3317

▶メール o-let@ad.ryukoku.ac.jp

## 事業目的・背景

龍谷大学文学部の学生は、1・2年次の間は深草キャンパスで大学生活を送り、3・4年次になると大宮キャンパスへ通学します。大半の学生は、大宮キャンパス周辺地域である下京区に触れることが無く、地域の方々との交流の機会も少ないのが現状です。本事業を通して、龍谷大学が下京区に立地していることを学生自身が意識することを促すと共に、下京区の事柄に触れることで地域への愛着心を持つことにつながります。

## 事業概要

龍谷大学大宮キャンパスを起点に「人間の文化的営み」をテーマにして「下京区の魅力」を調査・取材し、大学生たちが記事にまとめる。まとめた情報は、①「下京区の魅力マップ」としてポストカードや紙地図として発行し、下京区各所に配布すると共に、②オンラインマップ上(Stroly.com)に情報をストックして発信することを通して、次代に向けた下京区の地域ブランドの醸成・開発に寄与することを目指します。

## 活動期間

龍谷大学は「浄土真宗の精神」を建学の精神として、その歴史は1639年に西本願寺に設けられた「学寮」に始まります。文学部では、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人間を育成することを目的としています。2017年から「京都えきにし」フリーペーパーの発刊(3万部)を始めとして、文学部が培ってきた専門知識を活かしながら社会と連携し地域貢献を目指す活動を展開しています。

## 成果

「文学部プロジェクト実践発展演習Ⅱ」を受講した12名の学生が「西洋建築・銭湯・香り」の3テーマを設定し、下京区各所のリサーチを行いました。リサーチした内容はウェブの記事とイラストマップにまとめ、紙地図の配布と共にオンライン上でもマップを確認することができます。7月には学内で成果報告会を実施。8月には本学オープンキャンパスで来場者に取組みを紹介しました。また「まいふれ」でも本取組みを紹介していただきました。<https://letters-project.amebaownd.com/>

## 今後の予定

今後は下京区内外でイラストマップとポストカードの配布を行い、広く下京区の魅力を発信します。また今回の取組みを通して得たノウハウを活用した発展的な取組みとして、京都市内の小学生と文学部の学生が連携した観光ガイドの実施等を検討しています。



〈フィールドワークの様子〉

取組みを進めるにあたり、大宮キャンパスを起点に下京区の街歩きを実施しました。株式会社Strolyさまの協力により、オンラインマップを用いてガイドをして頂きました。



〈チームで地図を制作している様子〉

3~4名のチームに分かれ、オリジナルのテーマを設定するために議論を重ねました。

下京区の方々にお世話になりながら取材を実施し、内容をウェブ記事にまとめていきました。



〈成果報告会の様子〉

今回関わっていただいた方々をお呼びし、学内で成果報告会を行いました。制作したマップについて、更なるアイデアや知見を頂き、今後活かすことのできる充実した場になりました。



「オンラインマップ」